

# 三条北ロータリークラブ週報

2013-2014年度

国際ロータリー会長：ロン D. バートン「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」

第2560地区ガバナー：山崎堅輔 「進めよう！職業奉仕の洗練化を！」

「備えよう！大震災の心構えを！」

三条北ロータリークラブテーマ「楽しくなければ ロータリーではない」

会長：丸山 勝

幹事：岡田 健

SAA：石黒 隆夫

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三条ロイヤルホテル TEL34-8111

事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP : <http://www.sanjo-nrc.org>

AD : [north@sanjo-nrc.org](mailto:north@sanjo-nrc.org)

## 本日の行事：社会奉仕事業

### 「あきらめない心」

#### 佐野有美（あみ）さん講演会

◆本日の出席：71名中41名（内記帳4名）

◆先々週の出席率：71名中55名 77.47%  
（前年同期 81.16%）

◆先週のメイクアップ：（敬称略）

9月26日三条東RCへ 星野義男  
中條耕二、樋口 勤、石川勝行  
28日米山奨学委員長セミナー  
大野新吉

10月1日親睦活動委員会  
本田芳久、羽賀一真、福岡信行  
森 宏、大桃麻弓

◆10月1日記帳受付：（敬称略）

三条RC 斎藤弘文、衛藤泰男  
中村和彦、加藤紋次郎  
石橋育於、小越憲康  
丸山行彦、渡辺勝利  
阿部吉弘

三条南RC 田中悌司、広岡豊樹  
吉井正孝、野島廣一郎  
船久保孝志

大島中学校全生徒の手作りです



## ◆三条北ロータリークラブ 青少年育成講演会◆

●大島中学校 寺子屋授業●

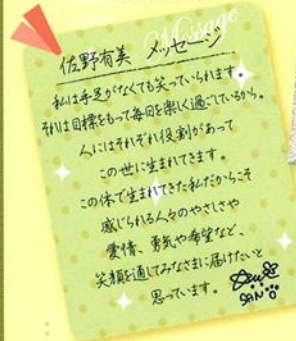
＜車いすのアーティスト＞

### 佐野有美

講演会 さのあみ

### 『あきらめない心』

生まれつき手足の欠損というハンディがあるからこそ語れる「あきらめない心」「感謝の気持ち」「チャレンジ精神」など、さまざまな想いを講演やメディアを通じ精神的に発信中。



日時 平成25年9月27日(金)  
p.m. 2:00～3:30

会場 三条市立大島中学校〈体育館〉

#### PROFILE

先天性四肢欠損症で生まれ、あるのは短い左足と3本の指のみ。高校在学中、チャリディング部に所属し「車椅子のチャリダー」として話題となる。2011年6月シングル「歩き続けよう」、アルバム「あきらめないで」でCDデビュー。アルバムは第53回輝く！日本レコード大賞「企画賞」を受賞。現在、多方面からの歌や講演依頼を受け積極的に活動中。

#### 経歴

「歩き続けよう～手足のない私にできること」  
（2012年8月 発売開始）  
「手足のないチャリダー」(2008年11月 主催と共演)  
「あきらめないで」(2011年10月 主催と共演)

#### CD

シングル「歩き続けよう」(タイタックエンタテインメント)  
■作詞：佐野有美 作曲：藤本隆雄  
アルバム「あきらめないで」(タイタックエンタテインメント)  
全7曲 制作：佐野有美 作曲：藤本隆雄

お問い合わせ先：事務局

三条北ロータリークラブ事務局（三条ロイヤルホテル内）

TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

●主催／三条北ロータリークラブ（社会福祉委員会） ●後援／三条市、三条市教育委員会

来場者数

三条市立大島中学校・大島小学校・頃頃小学校  
児童生徒 219名

保護者地域の方々・各学校職員 66名

大島中学校の寺子屋授業の一環として三条市教育委員会よりご後援を頂き、280名余の来場者をお迎えして開催。

## 開会挨拶：社会奉仕委員会 石川一昭委員長



みなさん今日は！三条北ロータリークラブの石川と申します  
今日は皆さんの大切な授業の時間を頂きまして大変ありがとうございます！  
そして、今日まで一緒に準備をして頂きました大島中学校の杉山校長先生並び先生方ありがとうございます。ありがとうございました。  
今日は四肢欠損症の佐野有美さんの講演を皆さんと一緒に聞きたいと思えます。  
佐野さんは生まれつき手足がなくあるのはちょっと短い左足とその先にある豆粒のような3本の指、そんな佐野有美さんの今まで育ってきました経験談を皆さんと一緒に聞きしたいと思います。  
また、今日は三条市の長谷川教育長様はじめ大勢の皆様からお越し頂きまして重ね重ねお礼申し上げます。最後に佐野有美さんから沢山のパワーを頂いて下さい、そしてこれからの人生の糧にして頂ければさいわいです。

### 「あきらめない心」佐野<sup>あみ</sup>有美さん



先天性四肢欠損症で生まれ短い左足と3本の指のみというハンディを抱えながらも「あきらめない心」と「感謝の気持ち」を持ち続け様々な事にチャレンジされている佐野有美（あみ）さんからお話し頂き、障害を隠すこと無く満面の笑顔で自ら器用に車椅子を操作し、登場されてのお話には低学年の児童生徒も目を輝かせ聞いていました。

（以下、講演内容を要約し掲載させていただきます。）

小学校時代から体育が一番好きで、工夫をこらしてサッカーや野球も友達とやりました。水泳、縄跳びにも挑戦。泳ぎたいと言ったときは周りの誰からも反対されたがお父さんだけが理解し協力してくれ「あみ泳ぎ」で100mを泳ぎ切った。縄跳びはお母さんに協力して貰い連続77回跳ぶ事ができました。達成感と喜びを感じることができ「諦めずに良かった」と思いました。

大人になって過去の自分を振り返った時、たくさんの事に気づかされます。人から学ぶことも多いけれど、自分自身から学ぶことも結構あります。

何事も「できる」「できない」ではなく、「やりたいの」「やりたくないの」「やるの」「やらないの」できるできないではなくやりたいか、やりたくないかだと思う。

100m泳ぎ切った時にみんな「すごいね」って言うてくれましたが一人の男の子が「おれ1000m（泳げる）」と言いました。このことから友達と比べる必要は無い。私は泳ぎたいと言っても平泳ぎもクロールもできません。みんなと同じように泳ぐことはできませんが、自分ができる方法、やれる方法で泳ぐことができました。だから友達と同じじゃなくていいんです。自分ができる方法を考える事が大事なんだと思いました。

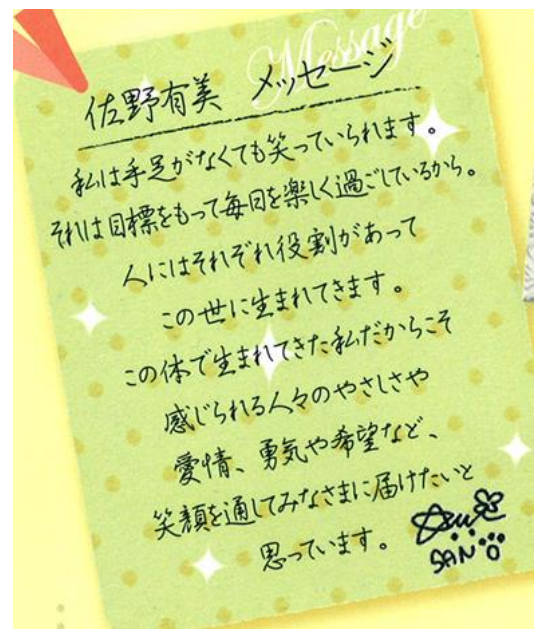
中学校に入った頃には友達と比べて自分の障害を痛感しました。だんだん自信がなくなり、自分の事が大嫌いになり殻に閉じこもるようになってしまった。そんな私を引っ張り出してくれたのは「有美は有美さんだよ。有美らしく頑張ればいいんだよ。誰かが見てくれるから」と言ってくれたお母さん。その時「私は私でいいんだ。私らしく頑張ればいいんだ」とすごく勇気をもらいました。

高校時代にチアリーディング部に入部しました。でも見ているだけでした。友達から「何か気づいたら言ってよ」と言われても、自分が何もできないのに友達のことを言ったら嫌われてしまうと思った自分の意見は言えなくなってしまいました。そんなとき、先生が、「このままでいいの。この先どんなに願っても手足は生えてこないよ。でも有美には口がある、声があるじゃない」との言葉でした。私は手足がない。みんなの為にできる事は何もないと思っていたけど、声がある。私でもできる事があったんだと見つけたんです。それからは積極的に友達にアドバイスができる様になり、友達からは感謝の言葉を貰い「何かあったら言ってよ」と言って貰えました。

つまずくかもしれないけれど挑戦の先に失敗はない。歩み続けた証拠で学びと成功を導いてくれます。支えてくれる両親や友人への感謝を忘れず『ありがとう』という言葉大切に伝えましょう。

講演の最後に、その場で色紙を書いて来場者にもプレゼントして頂きました。

児童生徒の質問にも今までの経験から得た事をから答えて頂き最後は満面の笑顔で自分で車椅子を操作して退場されました。



## お礼の言葉：丸山 勝会長



佐野 有美さん「あきらめない心」と題して講演ありがとうございました。

大島中学校・大島小学校・須頃小学校の学生さん、今日の講演はいかがでしたか？

三条北クラブは創立以来、社会奉仕活動として青少年健全育成を目的とした活動を行っています。少しでも地域の役に立てれば幸いです。また今回の事業を行うことに大島中学 杉山校長先生におかれましては会場の提供を始め、幾多の便宜を図って頂きありがとうございました。本日お越しの一般の方、父兄の方、学生さん、先生及び学校関係の皆さん、本当にありがとうございます。最後に佐野 有美さんありがとうございました。

記念品とし燕市で作られております、今話題の氷が溶けにくい、チタン製のマグカップをお贈りしました。

## 三条市立大島中学校校長 杉山 敏 様よりお礼のお手紙を頂きました。

拝 啓

ものを考える時は、秋の澄んだ心。

先日は、当校57名の生徒と校区2小学校の児童全員に貴重な「心の時間」をいただき、心より感謝申し上げます。生徒の感想の中で一番多かったことは、『できるかできないかではなく、やる気がないのかやる気があるか』という言葉が胸に響いた。』というものでした。私のモットーは「やる前にできないと決して言うな。Never say 'never'.」です。ウチの生徒から同じ気持ちが出てきたことは、校長冥利につきます。

今回、「地域と保護者と学校が一緒になって子どもを育てることが、これほど大きな成果になって現れる」ということを実感できました。子どもにとっては、佐野有美さんのブログ・新潟日報・BSNなどで取り上げていただいたことも大きな自信につながると思われませんが、佐野さんと「かわる」機会を貴ロータリークラブよりいただいたものがこれからの生き方に影響していくことを期待しています。

貴ロータリークラブ様には、事前の準備として、校舎1階のバリアフリーにもご協力いただいたこと、それを寄贈いただいたことなど言葉で言い尽くせない「真心」を頂戴いたしました。改めて、御礼申し上げます。貴ロータリークラブのますますのご発展を祈念いたしますとともに、中学校にしては小規模な当校をこれからも応援いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

敬 具

三条北ロータリークラブ

会 長	丸 山	勝 様
幹 事	岡 田	健 様
社会奉仕委員長	石 川 一	昭 様
ご協力くださった全てのみなさま		

平成 25 年 9 月 30 日(月)





大島中学校生徒による合唱で開始



その場で書いた色紙を  
プレゼント

三條北  
ロータリークラブ様  
絆  
☆  
佐野有美  
2013.9.27

